

滝川市環境市民委員会 評価・提言検討シートの意見集約表

質問項目	寄せられた意見等
<p>年次報告書を読んだ感想を教えてください。(読みやすさや表現方法など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや図などを織り交せて見やすくまとめられている。 ・目標数値への総括コメントで、市の報告書であるにも関わらず、「～必要となります」「～求められます」など第三者的な表現であることが気になる。 ・過去の実施状況や数値目標の設定の背景なども記載されていると良いのではないかと。 ・社会的状況の内容がやや堅い、もう少し短くても良い。
<p>年次報告書のなかに書かれていた取組等で、知っていたり、参加した(関与した)ものなどはありましたか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね認識している。 ・会社として植樹祭や石狩川クリーンアップ作戦、ミントチ祭りに参加した。 ・バイオマスなどに関する取り組みは知っていたが、その他の集団資源回収やフリマなどの取り組みは知らなかった。 ・集団資源回収には町内会として積極的に参画してきている。 ・レジ袋利用抑制への取り組み ・リサイクルフェア ・天ぷら油自動車燃料化事業 ・石狩川クリーンアップ作戦
<p>滝川市にとって、いま、力を入れるべき分野はどれだと思いますか？ で囲んでください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の循環物語と創エネと省エネ物語 ・いずれの分野も重要 ・人の環づくり物語 ・農・山・川物語
<p>数値目標の達成に向けて(既に目標に達しているものについては、その質を高めるために)、こういった取組が必要だと思いますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標は平成27年度時点で設定されており、22年度が折り返し点となることから、これまでの評価・分析、これからの具体的な実施方策の検討(または目標の見直し)を行う必要がある。特に目標値の達成が難しい項目については、具体的な取り組み内容を再構築する必要がある。 ・これらの目標達成のために人材の活用をどのように進めていくのかを考えていくべきである。 ・一人あたりのゴミ排出量とリサイクル率の向上に向けては、なかなか困難な状況ではあるが、資源ごみとして分別され切れていない他の分類のごみに混入している資源ごみをいかに資源として回収できるかがカギである。 ・新たな分別などもコストとのかねあいを踏まえた上で検討する。(エコバレーの代替施設の対応についても考慮する必要あり) ・省エネモニターを実施する際に、電力を減らすためのワンポイントアドバイスなどの冊子などを配付することなども考えていってはどうか。 ・実際の取り組みなどについてアンケートなどを実施し、それを全体にフィードバックすることも必要。 ・農業体験・植樹本数は周知徹底により、目標達成は可能ではないかと。 ・家族・個人など各々の立場で認識を高めることが重要であり、そのための「人の環づくり」や施設見学など、現状を知ってもらうことが必要。 ・自分の所属している団体を通じても普及啓発を図っていききたい。 ・まずはPR不足だと思うので、町内会などを通じて、目標に向けて協力を要請するなどの取り組みも必要。

<p>この報告書に掲載されているような取組などがもっと広く市民の皆様に普及するためには、どういったことが必要だと思えますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所におけるごみの減量化や省エネ実績などの取り組みについて積極的に公表していくことで、市民の関心を高める。 ・リサイクルの見学者数や天ぶら油の走行実績などを年次報告書などに示し、市民参加を促していく。 ・市民のネットワークを形成することが必要。行政主体だけではなくこういったグループ活動を促していくことが有効である。 ・一般市民特に、町内会役員、リサイクル推進員等から基礎的知識を深めてもらうような取り組みを行う。(石井先生の講演会がよい！) ・環境リーダーの養成に力を入れる。 ・市の広報などを活用する。 ・委員も行事等に積極参加するなどして、PRしていき、市民の理解を深めてもらう。
<p>最後に何かあれば、自由に記載して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年次報告書のなかで、滝川市の取り組みなどが他の自治体と比較してどうなのかといったことも記載されているとわかりやすい。 ・市民と行政の双方向型の取り組みが必要。 ・ゴミ排出量を減らすのであれば相当の覚悟が必要。ゴミ排出量を減らす目的を明確にすべき。(例: 処分場の延命化、焼却ごみの減量、資源ごみの分別精度の向上など) ・リサイクルの見学によって、改めて理解できた点があったので、町内会などを通じて普及啓発していきたい。 ・会議のなかで提案のあったネットワーク構築は進めるべき ・事業計画の提示はするべき